

第 5 回地域検討会（石川県）での指摘事項に対する対応（案）

(1) 第 4 回地域検討会議事概要及び指摘事項（資料 1、2）

1	コメントなし
---	--------

(2) 石川県羽咋市地域における調査結果（資料 3 - 1）

1	<p>【指摘】石川県のゴミの漂着量が、他の地域と比較すると、最も少なかったという表現があるが、ゴミの密度であるため、書き方を工夫するように。</p> <p>【対応】地域検討会報告書には、整理上、他地域との比較及び結果を入れないこととしたので、ご指摘の部分については削除している。その他の部分についても、誤解を与えかねないよう工夫して記述する。</p>
---	---

(3) 石川県羽咋市地域における漂流・漂着ゴミに関する技術的知見（資料 3 - 2）

1	コメントなし
---	--------

(4) 石川県羽咋市地域における今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方（資料 3 - 3）

2	<p>【指摘】下流側の漂着したゴミよりも、上流側で対応したほうが一番効率がいい。草刈りのヨシは、処分施設へ持ってくればよいが、ゴミ処分費が高騰しているために、できるだけゴミ量を少なくしたいというコンセプトがある。</p> <p>【対応】ご指摘の考え方について、課題の中で整理する。</p>
3	<p>【指摘】国の補助金のメニューは、同じ漂着物であっても、環境省と国交省・農水省で対象となる量や海岸が違うので、国として省庁会議で統一したメニューに近づけてほしい。</p> <p>【対応】補助制度については、国土交通省・農林水産省、環境省とも、できる限り地域の声に応えるべく制度の拡充を行っている。さらなる補助金の拡充も今後の検討事項ではあるが、まずは制度の周知徹底及び活用の呼び掛け、効率的な運用を図っていきたい。</p>
4	<p>【指摘】ヨシを刈り取る必要性の議論はなかったのか。刈る範囲を狭くすることも、発生源対策の 1 つである。下流での対策の費用、上流での対策の費用を比較する検討の必要もあるだろう。</p> <p>【対応】上流でのヨシの刈取の実態について、ヒアリングを行い、費用を算出できるか検討して、その結果を可能な範囲で記述する。</p>
5	<p>【指摘】今後の継続調査が必要と思っている。地域住民の教育を推進しながら、その効果を把握するという継続調査の必要があるのではないかと思う。</p> <p>【対応】地域の要望として追加記述する。</p>
6	<p>【指摘】第 3 章の調査結果に、クリーン・ビーチいしかわの活動を大々的に宣伝してほしい。</p> <p>【対応】ご指摘の点は、第 3 章の「取組の現状」の中で、優良事例として紹介させていただく。</p>

7	<p>【指摘】河川流域に着目した発生源対策を念頭に置きつつ、クリーン・ビーチいしかわの周知徹底を図るため、各市町村の市報にクリーン・ビーチいしかわや漂着ゴミについての広報をしては良いのではと思う。なるべく予算がかからない活動から進めて欲しい。河川上流の方にクリーン・ビーチいしかわの活動に参加してもらい、普及啓発による発生源対策を進められれば理想である。このような提言をするための基礎資料として、クリーン・ビーチいしかわの実績（年々の参加人数、回収したゴミの量、参加者の特徴や地域別割合等）を後日教えていただきたい。</p> <p>【対応】クリーン・ビーチいしかわの事務局と調整し、可能な範囲で追加記述する。また、広報の点についても、第 章の「今後の対策のあり方の方向性」で記述する。</p>
---	--